



自販機へらそうキャンペーン 秋のセミナー

どうしたらへらせる? 飲料自販機 part 2 動き出した自治体からの最新報告

日本は狭い国土に、世界一、自販機がひしめいている国です。必要性の薄いものから使用を停止し、設置をやめることは可能です。節電になるだけでなく、使い捨て容器とCO2の削減にもつながります。

3.11 後の節電対策として、自販機削減に動き出した自治体もあります。多くの原子力施設を抱える茨城県東海村は村施設のほぼ全ての自販機を撤去、東京都多摩市は公共施設の自販機の半数を停止しました。

今回のセミナーでは、これらの自治体のトップから、その決断の背景や思いを語っていただきます。そして、自販機の見直しから、エネルギーシフトをめざして、一緒に考え、話し合しましょう。

【日 時】 **10月18日(火) 14:00~16:30** 13:30 開場

【会 場】 **東京都消費生活総合センター 16階 会議室A**

飯田橋 セントラルプラザ (東京都新宿区神楽河岸 1-1)

- JR 飯田橋駅西口を右に出て、右側前方のビル

- 地下鉄(東西線・有楽町線・南北線, 都営大江戸線) 飯田橋駅 B2b 出口より直結

◇資料代 500円 ◇定員 100人

【プログラム】

- 自治体からの報告 茨城県東海村 村長 村上 達也さん
東京都多摩市 市長 阿部 裕行さん
- 地域団体からの報告
- パネル討議「自販機見直しはエネルギーシフトの第一歩」
コーディネーター:平田仁子さん(気候ネットワーク)



村上達也さん
(東海村村長)



阿部裕行さん
(多摩市市長)

【主 催】 自販機へらそうキャンペーン

申込み
問合せ

ホームページの申込みフォームよりお申込みください <http://www.jihanki-herasou.org/>

または、お名前・ご所属・ご住所・メールアドレスを事務局までご連絡ください

自販機へらそうキャンペーン事務局

TEL:03-3234-3844 FAX:03-3263-9463 Email:info@jihanki-herasou.org



自販機へらそうキャンペーン

<http://www.jihanki-herasou.org/>

日本の自動販売機の設置台数は 521 万台、その半数が飲料自販機で、総年間消費電力は福島第一原発1号機の年間発電量の約 1.5 倍に相当します。このキャンペーンは、飲料自販機を大きく削減することをめざし、必要性の薄い自販機から設置をやめるよう自治体や商店に働きかけることを呼びかけます。

呼びかけ団体 ◆ FoE Japan (フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)、環境エネルギー政策研究所、環境市民、環境文明21、気候ネットワーク、グリーンピース・ジャパン、ごみ環境ビジョン21、ナマケモノ倶楽部、日本消費者連盟、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク